

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 柏寿会

福光園ケアハウス老楽園

〒021-0902

一関市萩荘字大袋 306番地1

電 話 3 2 - 2 5 1 0

F A X 3 2 - 2 5 1 1

目次.....	1
1. 沿革.....	2
2. 事業の目的.....	2
3. 事業の内容.....	2
4. 当年度の目標の反省.....	4
5. 入居者の状況.....	7
6. 行事の実施報告.....	10
7. ボランティア等受け入れ状況.....	11
8. 研修実施状況.....	11
9. 主な事業活動収入等.....	11

1. 沿革

- 平成17年3月12日 福光園ケアハウス老楽園（定員20名）開所
デイサービスセンター老楽園が併設
- 平成22年4月1日 特別養護老人ホーム福光園が大袋に移転新築
福光園ケアハウス老楽園特定施設入居者生活介護
（定員20名）増床

2. 事業の目的

身の回りのことができる程度の自立した生活ができるものの、調理等に負担を感じつつある高齢者の方を対象として、食住の提供および入浴の準備、相談、余暇活動支援、緊急時の対応といったサービスを提供することによって、その人なりの自立した生活をしていただけるよう援助することを目的とする。

3. 事業内容

①食事の提供

1日3食、基本的には食堂にて食べていただく形で提供しています。欠食をする場合は、原則として前日17時30分まで（朝食は10時まで）に届けを出していただいています。

給食委員会を2か月に1回行い、入居者の意見をもとに、職員、栄養士で食事について意見や感想等話し合っています。不定期でごはんについて語る会を行い、栄養士と入居者、職員で食事についてお話ししています。

また、嗜好調査（食形態や主食の量、個人の嗜好等の確認）を6カ月に1回実施し、代替食にも対応しています。体調の変化等に合わせ、一時的に主食をおかゆにするなどといった対応も個別に行っています。

行事食や季節に合わせたメニューなどは特に喜ばれています。

②入浴の準備

ケアハウスには個室浴槽が2つあり、午前中から夜までご本人の希望に合わせた予約制で入浴していただいています。施設側で浴室の掃除、湯沸しを行い、一人ずつ入っていただきます。お湯は一人ひとり替えるため、気兼ねなく入浴していただけます。一人で入浴することが不安な方は、ヘルパーを利用した見守り・一部介助、あるいはデイサービスでの入浴を利用しています。

③生活や健康に関する相談及び助言

入居者やご家族の生活相談や健康相談を受け、必要に応じてケアマネや他のサービス事業者等と連携して対応しています。

入居者に対しては、日頃から月に1回の体重測定、週に1回の健康チェック(血圧測定等)の他、検温や換気の声かけ、必要に応じて通院日程の調整やその方にあった薬の管理方法の確認等を行い、各自が適切に健康管理できるよう支援しています。

また、年に1回予防医学協会による健康診断の機会を設け、入居者に喚起しています。

年4回感染症対策委員会を行い、その内容や健康管理に関する情報を月に1回の常会等でお知らせし、役立てていただいています。

ご家族に対しては、毎月おたよりの送付を行っており、行事の様子や翌月の予定等を掲載した新聞「老楽園だより」や連絡事項の他、ご本人の様子の変化等をお知らせしています。

ケアハウスは自立型の施設のため、ADLの低下や認知症の進行等により次の施設への移行が必要になることがあります。ご家族の前での様子と、普段の様子が違うことも多いためです。

施設の移行が必要になった際は、ケアマネと連携し、ご本人、ご家族の気持ちの傾聴、当園で作成した「介護付きの施設が気になった時の手引き」を含め必要な情報提供等を行うことで、移行における精神的負担へ配慮していきたいと考えています。

④余暇活動の支援

季節に合わせた行事(お正月、節分、ひな祭り、お花見、七夕祭り等)や、買い物(おつかい)行事、毎週行っている問題の配布など余暇時間を充実させるための支援を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しているものや形を変えて行っている行事も多くありますが、園内でできる行事を増やし対応しています。

⑤疾病や災害等緊急時の対応

体調の急変時は、かかりつけ医等医療機関やご家族と連絡を取りながら対応しています。夜間は常時看護師と連絡が取れる体制をとっています。

また、災害による被害を軽減するため防災計画を作成し、消防署との連携の下、定期的に避難訓練を実施しています。

⑥その他のサービス

・通院の送迎

タクシーを利用した場合の金銭的負担を考慮し、平日日中（9：00～）はケアハウスで送迎を行っています。希望時間・予約時間になるべく合わせて送り、帰りはケアハウスに電話で連絡してもらい、その都度迎えに行っています。

・介護保険サービスの仲介

初回の介護認定の申請に関する相談や、ケアマネへつなげるお手伝い、その他生活の様子を見ながら、相談・助言等行っています。

4. 当年度の目標の反省

①入居者の命を守るための感染症予防対策を行っていく。

それとともに、日常生活を守るための支援を行っていく。

▷令和4年度は入居者で新型コロナ陽性者が2回出ましたが、それぞれ軽症で、感染拡大することなく終息しています。

その時の感染状況等によって違いますが、最大で15日間、居室内のみでの生活となりました（本人の療養・観察期間10日、他入居者はさらにそこから濃厚接触者の観察期間5日で計15日間）。その間保健所の指示で、デイやヘルパー、入浴や洗濯等も中止してもらい、お弁当対応となっています。

かなり不便で窮屈な生活が続いた中、自分で居室内で清拭やシャワーをしていた方、手洗いで洗濯していた方もいました。午前午後の検温・サーチ測定も含め、入居者それぞれの協力を得られたことで、職員も陽性者・濃厚接触者を含む入居者の対応を行うことができました。

こうした経験を踏まえ、今後の感染症対策を考える上でも、また入居者ができるだけ一般型で暮らし続けるためにも、入居者が自分自身を助け、守ることができるよう支援していくことが大切であると改めて実感しました。

ケアハウスでは、定期的な見回りができるわけではないため、本人からの訴えがなければ次の食事まで異変に気付くことができない場合もあります。特に夜間は管理宿直体制のため、夕食時から朝食時までには約13時間と長く、日中とは異なり職員が居室に訪問することも基本的にはありません。自分で助けを求めることができない、自分の体調不良に気づけないために、退居につながるケースもあります。

今後は、検温の習慣づけや、ナースコール・内線等で自分から職員に連絡することができるかなど定期的に確認していきたいと思います。

▷毎週行っている問題集の配布についても、内容を漢字の書き取り（真似して書く）や、一桁の足し算引き算等にし、量も A4 サイズ1 枚に減らしています。内容や量よりも、週に1回自分の名前や問題の答え等を「書く」ということ、「事務所に自分で持ってくる」こと、無理せず「続けられる」ことを重点に置いています。普段も、書類等名前を書かなければならない機会があるので、良い練習の機会になっていると思います。

また、楽しく続けることができるよう、ポイントがたまるとトイレトパー1個、マスク3枚などの景品がもらえるしくみにしています。以前に比べ、取り組む方が多くなっているため、今後も継続していきたいと思います。

▷感染症対策で面会・外出制限を行っており、家族付き添いで通院する方以外は、なかなかご家族に会えない状況が続きました。LINEでのテレビ電話は可能となっていますが、利用できるご家族自体が少ない状況で、希望があれば窓越しでの面会を行いました。

ご家族が居室に入れられないこともあり、居室内の管理に不安がある方も増えていました。食中毒等の危険もあるため、不定期に行っていた居室整理（冷蔵庫の霜取り・ナースコールの位置等確認）について、隔月（月に10部屋ずつ）で行うことにしています。

▷ご家族と直接会う機会が減っていること、居室の状態を見ていただくことが難しいこともあり、介護付き施設への移行が必要な場合に、ご本人の状態を言葉だけでは伝えることが難しい部分があると感じました。

他施設への移行はご本人・ご家族ともにショックやとまどい、不安なども大きいいため、直接面談する機会を設けるなど、できるだけ時間をとって丁寧に説明・相談させていただく必要があると感じました。

②入居者の転倒予防を支援する。そのために、各自で無理なく継続できるような運動の喚起、必要に応じて環境整備の助言等行っていく。

ADLの低下、体力や認知機能、筋力低下が見られる方も多く、歩行や動作に不安定さが見られる方も多いようです。園内で行事を行うたびに普段もできるような体操（特に足の体操）を多く取り入れています。現在の入居者の体力等考慮して1回の時間は短時間で企画しています。

歩き方などから靴やスリッパが合っていない方には希望に応じて靴の購入支援をしたり、居室内の配置換え、歩行器のレンタルを勧めています。できるだけ自分の足で安全に歩き続けられるよう、歩行状態や居室環境の観察を継続していきます。

5. 入居者の状況

(1) 月別利用状況及び充足率

月	月初利用者数	入居	退居	月末利用者数	利用率
4	20	0	0	20	100
5	20	0	0	20	96.5
6	20	0	1	19	95.5
7	19	0	0	19	95
8	19	1	1	19	96.1
9	19	0	0	19	91.8
10	19	0	1	18	92.7
11	18	2	1	19	85.5
12	19	0	1	18	89.8
1	18	0	1	17	86.6
2	17	0	0	17	81.6
3	17	0	0	17	81.5
計	225	3	6	222	91.1

※利用率については、入院・外泊分も不在とみなして集計

【入居前居所】 自宅より 2名 病院より 1名

【退居理由】 老楽園特定施設へ 2名 他施設へ 4名

(2) 入居前住所別利用者数 〔令和5年3月31日現在〕

入居前住所	人数(名)
一関市	14
平泉町	1
奥州市	1
宮城県	1
計	17

(3) 年齢別・男女別利用者数 〔令和5年3月31日現在〕

年齢	男性〔名〕	女性〔名〕	計〔名〕
60代	0	1	1
70代	1	1	2
80代	3	3	6
90代	0	8	8
計	4	13	17

※入居者の平均年齢

〔男性〕 81歳 〔女性〕 87.8歳

〔全体〕 86.2歳

(4) 年齢別介護度の状況 〔令和5年3月31日現在〕

	～69歳 〔名〕	70～ 74歳 〔名〕	75～ 79歳 〔名〕	80～ 84歳 〔名〕	85～ 89歳 〔名〕	90歳～ 〔名〕	計 〔名〕
自立	1	0	1	1	0	0	3
要支援1	0	0	0	3	1	0	4
要支援2	0	0	0	1	0	1	2
要介護1	0	1	0	0	0	4	5
要介護2	0	0	0	0	0	3	3
計	1	1	1	5	1	8	17

平均介護度 0.85

(5) 介護サービスの利用状況 〔令和5年3月31日現在〕

介護度	人数	サービス 利用あり	サービス利用内訳		
			デイ	ヘルパー	福祉用具
自立	3	0	0	0	0
要支援1	4	3	2	2	1
2	2	2	1	2	1
要介護1	5	5	5	4	4
2	3	3	3	3	2
計	17	13	11	11	8

福祉用具は歩行器レンタルの方がほとんどです。本人持ちの人も含めると、17名中10名は歩行器等使用しています。

(6) 通院の送迎回数 (平日の 9:00~18:00)

ケアハウス職員が病院に送迎した回数 (往復で1カウントする)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
名	13	6	13	10	7	14	18	8	13	8	13	12

年間合計 135回

新型コロナウイルス対策のために、職員が薬をもらいに行くなどの対応をしていることや、家族対応の方も増えており、送迎回数は半減しています。

(7) 服薬管理状況

自立	在庫管理	薬セット (服薬は本人)	服薬確認	服薬介助	計
2	4	4	2	5	17

ほとんどの方の薬に関して何らかの管理をしています。在庫管理とは、数か月分薬をもらう方に1か月分ずつ渡したり、軟膏・目薬・頓服薬等一部預かることで、使用状況の確認やなくなる前に通院や薬もらい等促すことです。

薬セットは、(複数の病院の薬のホチキス止め等)や居室のお薬カレンダーへの補充・確認等を行っています。自立でも、残薬や通院日程の管理等を行っている方もいます。

6. 行事の実施報告

月	季節の行事	その他の行事等
4月	観桜会、入居者親睦会総会	<ul style="list-style-type: none"> • 常会（月1回） • 移動図書館（月1回） • おつかい（月3回程度） • 健康チェック（週1回） • 問題集配布（週1回） • クリーニング（週1回） • 居室整理（不定期） • 新型コロナワクチン 入居者集団接種 4回目 8/26（18名） 5回目 1/20（16名）
5月	母の日、ミニ運動会、体操	
6月	父の日、テイクアウト（南部屋敷）、 新聞紙で袋作り、体操	
7月	七夕会、老楽園夏祭り①、 避難訓練（7/13）、体操	
8月	老楽園夏祭り②、入居者検診（8/10） 打ち上げ花火	
9月	敬労会、作品展示会	
10月	テイクアウト（みずきゅう）、避難訓 練（10/12）、干支の手芸キット注 文、体操	
11月	いものこ会、ワックス掛け、体操	
12月	忘年会、クリスマスランチ	
1月	新年会（餅）、新春抽選会（体操）	
2月	節分（体操） テイクアウト（いちのせき弁当）	
3月	ひな祭り会（体操）、防災確認の日	

7. ボランティア等受け入れ状況

※新型コロナウイルス対策のため、休止中

8. 研修実施状況

10/12 東北ブロック軽費老人ホーム施設長及び職員研究大会
（ZOOM 研修）

9. 主な事業活動収入等

のべ利用者数： 6651 人（利用率 91.1%）

老人福祉事業収入： 34,128,806 円